



●緊急募集!●

毛呂山思い出写真館のコーナーでは掲載可能な写真が不足しているため毛呂山町の昔の写真を緊急募集しています。昭和60年代ごろまでの昔の写真をお持ちで、ご提供いただける方は役場秘書広報課広報広聴係 ☎(295) 2112内線332までご連絡ください。皆さんのご協力をお待ちしています。



町中央部の航空写真
昭和50年代前半

昭和50年代の毛呂山町は、人口が飛躍的に増え、多くの住宅が建設され、町の都市化が進んだ時期でもありました。また、現在の役場庁舎をはじめとする様々な公共施設も建設された期間でもありました。

徒然歳時記

卒業

卒業式の季節になりました。皆さんは「卒業」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。日本では「卒業」というと、教育課程の修了や、恩師や友人との別れなど、ものごとが終わってしまうようなイメージが伴います。しかし、海外における「卒業」は、少し違った意味を持っています。



たとえば、卒業を表す英語は、ラテン語のgradus(グラドゥス)が語源であり、これは「階段」を意味します。また、学位授与式を表す英語は、「始まり」を意味するフランス語が語源になっています。つまり、海外の人たちにとって「卒業」は、「階段をのぼるように、さらにもう一步踏み出して、新しいスタートラインに立つ」という意味合いを持った、始まりの言葉なのです。

ところで、卒業式の定番ともいえる『蛍の光』という曲があります。別れの曲として知られるこの曲も、本当は別れの曲ではありません。もともとはスコットランドの民謡で、旧友と再会した際に昔を偲んで歌われた『遠い昔』という題名の曲でした。それが日本に渡った際、作詞家稲垣千穎ちかひによって、教育の場にふさわしい歌詞をつけられ、現在知られる『蛍の光』になりました。

この春、町内の小中学校でも卒業式が行われます。今年は「卒業」という言葉から、新しいものごとの始まりや、再会する喜びを思い浮かべてみてはいかがでしょうか。

編集後記

ポカポカと暖かい日が多くなり、だんだん春めいてきましたね。日が経つごとに、春に近づいていくのを感じるのが嬉しい今日のごとです。もうすぐ4月です。役場に入庁してからようやく一年が経とうとしています。一年一年、一歩ずつでも進んでいければいいですね。(N)

わがやのアイドル



吉田 良萌ちゃん
(4歳)
美蕾ちゃん
(1歳2か月)

最近、2人で遊ぶようになり、よく笑い声が聞こえてきます。

たまにケンカもするけど、いつまでも仲の良い姉妹でいて欲しいと思います。



なかだ ひまりちゃん
中田 緋莉ちゃん
(1歳4か月)

4月から保育園に入園。最近は英語に興味があって、家ではABCソングをか

けると手を叩いておどります。いつもの笑顔でお友達いっぱい作ってね。

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
☎・☎ 役場秘書広報課 ☎(295) 2112内線 332

人口 36,443人 (-45人)
【男 18,149人 (-12人) 女 18,294人 (-33人)】
世帯 15,704戸 (-18戸)
※平成23年3月1日現在(カッコ)内は前月比

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。